- 1) 非妊娠, 妊娠時共に倍率は500×包埋はモノマー.
- 2) 多少の走向の相異を認める程度. dense areaははつきりしません.

27. 子宮筋の電子顕微鏡的研究 (第2報)

(自衛隊中央病院研究部) 亀谷 謙

(産婦人科) 石原 力

前に私はマウス及び人の子宮筋を電子顕微鏡で観察し, 筋肉収縮の最小形態学的単位と考えられているミオフィラメントが妊娠の際明瞭となる事を報告した.

今回は成熟兎の子宮筋を電子顕微鏡で観察し多少の知見を得たのでここに報告する.

試料の固定は前回同様1%OsO₄ペロナル緩衝液(pH 7.2)で約1時間行つた. 包埋は前回に使用したブチルメタクリレート8, メチルメタクリレート2の混合液の他, 電子線衝激に対して強いと云われるスチレンメタクリレート5, ブチルメタクリレート5の混合液更にもつと強いと云われるエボン(Luftによる)を使用した.

電子線染色は飽和水酸化鉛あるいは飽和醋酸ウラニールにて行つた.

- 1) 兎子宮筋に於いても人と同様妊娠すると
 - i) ミオフィラメントは明瞭となり整然と並ぶようになる. ミオフィラメント上に周期的に並ぶ dense areaも著明となる.
 - ii) 小胞体, ミトコンドリア等は増量する.
 - iii) 細胞同隙は広がる.
- 2) 去勢後3週間と4日の子宮筋では
 - i) 核質中特に核膜の内側に dense な領域を認める.
 - ii) ミオフィラメントは却てコントラストを増す.
- 3) 去勢後3週間後よりエストラジオールベンツォアート0.04mg 7日間続いてプロゲステロン1mg 3日間注射したものでは, ミオフィラメントに関する限り非妊娠のものと大差はない.
- 4) 兎の双角子宮の一侧の頸管側を結紮し, 1週間位後に交尾妊娠させて妊娠30日目に左右各側の子宮筋の相違を見たところ
 - i) ミオフィラメントに関しては妊娠側(結紮しなかつた側)も非妊娠側(結紮した側)も余り差はなかつた.
 - ii) 水酸化鉛で染色して比較すると妊娠側の筋細胞中には Glycogen 顆粒が著明に存在する. 非妊娠側には存在しない.
- 5) 兎の子宮でも筋細胞相互のジンチチアルな結合は

現在までのところ認めていない.

答弁 (自衛隊中央病院研究部) 亀谷 謙

去勢後1週間と4日よりエストラジオールベンツォアート0.04mg, 続いてプロジエステロン1mg 3日間皮下注射しました.

28. 卵管疎通検査法としての子宮卵管造影の分析

(東京医大)

藤原 幸郎, 小坂 順治, 更級 武夫,

吉野 明, 梶原 泰治, 松沢 昭,

植村 英夫, 坂田 稔, 岩倉 貝一

従来, 卵管疎通検査法の一つとしての子宮卵管造影術に関する報告は数多いが, その影像の分析に関する報告は少い. 卵管疎通の有無を判定するに際し, その影像の判読に可成り困難を覚ゆる事が屢々ある. そのため我々は子宮卵管造影の影像の分析を試み, その疎通性の判定基準を作つて最近4カ年間に得た. 467例について, 検討を加えてみた.

先ず直後像に関して造影剤注入後5~10分, 体動せしめた後に撮影したものを〔A〕とし, 注入直後に撮影したものを〔B〕とし, 夫々比較検討してみた. 影像の分類に関しては, 卵管膨大部像を, 正常(即ち細小平滑)像, 拡張平滑像, 拡張不整像, 細小不整像, 欠損像の5つに, 腹腔内漏出像を, (ビマン性若しくは集中性)薄雲状, (卵管周囲, 非卵管周囲)小斑点状, 不整濃厚陰影, 桑実状, 塊状, 卵管周囲局性不整漏出状, 欠損像の7つに分類した.

疎通性判定基準に関しては, 通過像は24時間後の終末像に於いて, ①(ビマン性若しくは集中性)薄雲状, ②非卵管周囲の小斑点状, ③不整濃厚陰影のいずれかを呈するものを通過像とした. 不通過像は, ①正常子宮腔像を呈し乍ら, 終末像に於いても, 卵管像, 腹腔内漏出像を欠くもの, ②24時間後の終末像に於いて, 両側卵管膨大部が明瞭に残り, 上述の通過像を欠くもの, ③一侧の膨大部終末像が, 残つている場合も, 通過像を欠き, 且つ直後の膨大部像が同側のみにある場合を, いずれも不通過像とした. そのいずれにも該当しないものを判定不能像とし, 再検又は他の疎通検査を併用して判定する必要があると考える.

卵管疎通検査としての子宮卵管造影術は, 終末像の方が直後像より遙かに重要であり, 直後像は子宮腔内造影剤の充盈の程度の判定及び卵管像の終末像との比較に意義を有するものとする.